

アイヌ施策推進地域計画 中間目標評価報告書

実施主体名	計画の名称	(中間) 目標年度
白老町	白老町アイヌ施策推進地域計画	令和3年度

1. 目標の達成状況

アイヌ施策推進地域計画における(中間) 目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) B/A	備考
①イオル事務所「チキサニ」利用者数	4,000 人/年間	2,206 人/年間	55.15%	
②アイヌ料理やアイヌに縁のある食材を用いた郷土給食提供食数	3,920 食/年間	2,580 食/年間	65.81%	860 食×3 回
③アイヌ文化プロモーションイベント来場者数	1,500 人/年間	23,300 人/年間	1,553.33%	東京、仙台、大阪
④アイヌラッピングバス利用者数	38,500 人/年間	35,921 人/年間	93.30%	循環・デマンド・交流促進バス利用者数
⑤町内で安心して医療を受けられることができると感じている割合	13.0%	9.9%	76.15%	町民意識調査結果
⑥生活館利用者数	27,500 人/年間	13,334 人/年間	48.48%	

アイヌ施策推進地域計画における(中間) 目標	達成状況	備考
①イオル事務所「チキサニ」利用者数	昨年6月と9月に道内において緊急事態宣言等が発令された影響により、目標値の達成には至らなかった。	
②アイヌ料理やアイヌに縁のある食材を用いた郷土給食提供食数	令和3年度における数値目標は、アイヌ伝統料理を取り入れた「ふるさと給食の日」を4回実施し3,920食を提供する予定としておりましたが、昨年6月と9月に道内において緊急事態宣言等が発令された影響により「ふるさと給食の日」の実施が3回となったことなどから目標値の達成には至らなかった。	
③アイヌ文化プロモーションイベント来場者数	今年度は、東京をはじめとする道外の大都市3カ所において、プロモーションイベントを開催できたことから、	

	目標値を大きく上回った。	
④アイヌラッピングバス利用者数	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、特にこれまでJRやバス利用が多かった外国人観光客等が来訪しなかったことから目標値の達成には至らなかった。	
⑤町内で安心して医療を受けられることができると感じている割合	まちづくり町民意識調査による地域医療満足度は、前年比で0.5%増加したものの目標値の達成には至らなかった。	
⑥生活館利用者数	昨年6月と9月に道内において緊急事態宣言等が発令されたことに伴い、対象期間中は生活館の使用を休止した影響により、目標値の達成には至らなかった。	

依然として終息していない新型コロナウイルスの感染拡大による影響により、多くの事業が目標値の達成には至らない結果となった。

2. (中間) 目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>上記①～⑥の目標達成のために実施した各事業においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のための縮小・休止等措置を除き、特に道外においてアイヌ文化に関するプロモーションイベントを行ったことで、アイヌ文化に関するPRとともに広く発信することができたものである。</p> <p>次年度も引き続き、アイヌ関係機関等と連携のうえ、目標達成のために各事業を推進していく。</p> <p>目標①：伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生事業 目標②：アイヌ伝統等普及啓発事業 目標③：アイヌ文化関連の観光プロモーション・商品開発事業 目標④：アイヌ文様ラッピングバス運行事業 目標⑤：来訪者受入のための医療体制整備事業 目標⑥：生活館運営事業(交付金対象外事業)</p>	白老町
事業の効果	
各事業の推進により、目標に掲げる、町内におけるアイヌ文化の保存又は継承、アイヌの伝統等に関する理解の促進、観光の振興その他の産業の振興、地域内及び地域間の交流並びに国際交流の機会を創出することができた。	

3. 今後の方針等

本計画に基づく事業を、一般社団法人白老アイヌ協会をはじめとする地域内のアイヌ関係者及びその他関係機関との強力な連携のもと、次年度以降も本計画に掲げる目標を達成するため、アイヌの伝統等に関する理解の促進、観光の振興その他の産業の振興、地域内及び地域間の交流並びに国際交流の促進を目的とした各事業を継続的・積極的に推進する。